

令和7年度 ふくしま心のケアセンター主催
／日本トラウマティック・ストレス学会共催シンポジウム

参加無料

東日本大震災15年目を迎えて “心のケア”が問い直すもの

ふくしま心のケアセンターは、東日本大震災後、みやぎ心のケアセンター、岩手県こころのケアセンターとともに活動を開始し、被災者の心のケアや支援者支援、心のケアに関する普及啓発等に取り組んでまいりました。震災から15年という節目を迎え、これまでの支援の歩みを多面的に振り返りながら、「心のケア」について問い直してみたいと思います。

本シンポジウムは、医療・保健・福祉従事者や各支援機関の職員の方々だけでなく、一般市民や学生の皆様など、心のケアに関心のあるすべての方を対象としています。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

日時

2026年

2月13日 金

13:00～16:30 (開場 12:00)

参加
方法

会場参加 定員80名
オンライン 定員100名
(Zoomウェビナー)

会場

郡山市郡山公会堂

(〒963-8876 福島県郡山市麓山1丁目8-4)

最寄り駐車場：麓山サンサン駐車場(2時間無料)

参加
対象

医療・保健・福祉従事者、
その他の支援機関職員、
一般市民、学生

プログラム

講演1 ふくしま心のケアセンターの果たした役割と課題/前田正治

(ふくしま心のケアセンター所長、福島県精神保健福祉センター所長)



講演2 被災地域の子どもの支援の振り返りと、現在の課題/内山登紀夫氏

(福島県子どもの発達支援協会 ふくしま子どもの心のケアセンター長、
福島学院大学福祉学部福祉心理学科教授)



講演3 県外避難者への支援(仮)/原口弥生氏

(茨城大学人文社会科学部現代社会学科教授)



講演4 宮城での支援：振り返りとこれからの課題/

松本和紀氏(日本トラウマティック・ストレス学会理事、こころのクリニックOASIS院長)

渡部裕一氏(原クリニック、元みやぎ心のケアセンター副センター長)



特別報告 避難地域の現状

パネルディスカッション

座長：高橋晶氏(日本トラウマティック・ストレス学会理事会長、筑波大学医学医療系准教授、茨城県立こころの医療センター)
前田正治

※上記プログラムの他、12時からパネル展示(これまでの当センターの活動についての紹介等)も予定しています

【お問い合わせ先】

(一社) 福島県精神保健福祉協会

ふくしま心のケアセンター 企画支援部企画課

TEL: 024-983-4272

E-mail: fukukoko_kenshu@kokoro-fukushima.org

【主催】(一社) 福島県精神保健福祉協会 ふくしま心のケアセンター

【共催】(一社) 日本トラウマティック・ストレス学会

公立大学法人福島県立医科大学医学部災害こころの医学講座

東北大学コンダクター型災害保健医療人材の養成プログラム

【後援】郡山市

お申し込み方法：

右記二次元バーコード、もしくは

当センターホームページ

「研修会・講演会など」

からお申し込みください。

申込〆切：2/2(月)



ふくしま心のケアセンター

<https://kokoro-fukushima.org/>

※ふくしま心のケアセンターは福島県より委託を受けて活動しております